

## I-3 健康増進課

### 1 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進

保健・医療・福祉包括ケアシステムとは、地域のすべての住民がたとえ疾病や障害をもっても、生きがいを持ち、安心・安全な生活を送ることを目的に、保健・医療・福祉等の各機関が十分に役割を果たすことができる仕組みを推進するものです。

#### (1) 地域・職域連携推進協議会

地域保健と職域保健の連携により、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備することを目的に平成 21 年度から地域保健医療推進協議会保健対策部会と併催で開催しています。なお、令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しませんでした。

#### (2) 認知症地域連携懇談会

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会の実現を目指し、認知症の早期発見・早期対応のための体制整備や医療及び介護の連携の推進を図ることを目的に懇談会を年 1 回開催していましたが、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しませんでした。

#### (3) 在宅医療・介護連携推進事業

顔と顔の見える関係づくりを大事にし、「橋渡し窓口」の内容の充実と橋渡し看護・介護の質の向上に努め、更に医療と介護の連携が深まることを目的に事業を実施しました。

年月日	内 容
令和 5 年 3 月 22 日(水)	<p>&lt;市町村等担当者会議の開催&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、書面開催とした。</li><li>・入退院調整ルールの活用状況や課題に関するアンケートを実施し、アンケート結果をもとに「令和 4 年度下北圏域『医療介護連携』レポート」を作成、配付。</li><li>・平成 29 年度作成「下北圏域の入退院調整に関する報告書」の改訂版を作成し、関係機関に周知した。</li></ul>

#### (4) 下北管内で開催されている各種協議会等への参加

保健・医療・福祉の関係者が連携を強化し、地域にある既存の社会資源を有効活用し、サービスを必要な人に一体的に提供できることを目的とした各種会議等に委員として参画しました。

<下北管内で開催されている各協議会等への参加>

会議名	開催状況	場所	事務局
むつ下北地域看護と介護の連携作り委員会	委員会：年4回(R4.5月、8月、11月、R5.2月) ※当所では11月、2月の会議に出席	むつ総合病院	むつ総合病院
むつ下北地域橋渡し研修会	R4.9月開催	プラザホテル むつ	
地域連携パス推進協議会及び地域連携パス実務者連絡会	【地域連携パス推進協議会】 第1回：書面開催(R4.7月) 【地域連携パス実務者連絡会】 第1回：書面開催(R4.7月) 第2回：書面開催(R4.11月) 第3回：会議開催R5.2月	むつ総合病院	
むつ市在宅医療・介護連携推進協議会	1回(R4.12月)書面開催	—	むつ市
むつ市高齢者・障害者虐待防止等連絡協議会	1回(R4.8月)書面開催	—	
むつ市障害福祉計画策定委員会	1回(R5.3月)書面開催	—	

## (5) 市町村保健福祉活動への支援

市町村が行う保健福祉サービスの向上と、県内・圏域における保健福祉に関する情報の収集・提供等を行うことにより、管内地域健康福祉施策の円滑な実施を図ることを目的に、市町村の求めに応じて、下北地域県民局地域健康福祉部が持つ機能を活用し支援を行っています。

<市町村保健福祉活動への支援>

市町村名	市町村からの要望とその他の支援内容	支援回数
むつ市	①保健師活動打合せ(1回) ②精神ケース検討、同行訪問(18回) ③その他の支援 ・むつ市地域保健協議会(1回) ・地域自立支援協議会(1回書面開催、2回欠席) ・要保護児童対策協議会(9回)	30回
大間町	①保健活動打合せ・評価会(1回) ②健康づくり推進協議会(中止) ③自殺対策協議会(中止)	1回
東通村	①保健活動打合せ(未実施) ②難病同行訪問(6件)、精神同行訪問(2件)	8回
風間浦村	①保健活動打合せ(1回) ②食育教室(風間浦村小学校)(3回)	4回
佐井村	①保健活動打合せ・評価会(1回)	1回

## 2 健康づくり

### (1) 喫煙対策推進事業

喫煙はがん及び心臓病の重要な危険因子とされるとともに、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙による健康被害に対する予防意識の普及啓発を図ることを目的に事業を実施しました。

#### ア 「空気クリーン施設(車) (受動喫煙防止対策実施施設(車両))」 推進事業

現在、空気クリーン施設(車両)の登録は332件になっています。

<令和4年度までの登録状況>

認証施設の種類	官 公 庁	文 化 施 設	保 育 施 設	教 育 施 設	医 療 施 設 ( 機 関 )	福 祉 ・ 介 護 施 設	体 育 施 設	事 業 所	公 共 交 通 機 関	飲 食 店	宿 泊 施 設	そ の 他	タ ク シ ー 等 の 車 両	計
登録件数	10	6	71	34	40	2	81	-	61	3	13	11	332	

#### イ その他

事業名	テーマ	対象者 参加者	内容
研修会	改正健康増進法(受動喫煙対策)周知及び空気クリーン施設認証PR	食品衛生責任者講習会90名(2回)	ミニ講話
広報活動	禁煙週間、受動喫煙対策の普及啓発	一般住民	むつ健康福祉庁舎玄関へポスター掲示

### (2) 減塩の推進とバランスのよい食生活の普及

#### 食の環境づくり(青森のおいしい健康応援店認定事業)

「肥満予防」「食塩摂取量の減少」「野菜摂取量の増加」を踏まえた食事メニューの提供を行う飲食店を認定し、県民が外食を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を図ることを目的として実施しました。

青森のおいしい健康応援店の認定は74店になっています。

### 3 栄養改善

#### (1) 給食施設栄養管理指導事業

安全で栄養バランスの良い給食が適切に提供されるように、給食従事者に対し栄養管理等について、個別巡回指導を実施しています。

年度	個別巡回指導		給食施設数	
	栄養士のいる施設	栄養士のない施設	栄養士のいる施設	栄養士のない施設
R1	47	22	47	22
R2	35	13	52	17
R3	43	13	52	17
R4	-	-	50	17

※ 令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため巡回による施設指導は実施しなかった。

#### (2) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村保健計画の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する者の資質の向上を図り、市町村の栄養改善事業の推進を図ることを目的としています。

管内市町村栄養士の配置は、令和5年3月現在、むつ市に3名、大間町に1名配置されています。そのほかの管内町村の栄養改善業務は、主に地域活動栄養士が担当しています。

##### ア 連絡調整会議・研修会

項目	開催日	内 容	場 所	出席者
連絡調整会議	令和4年 6月20日（月）	<b>【情報交換】</b> 1 各市町村で独自に実施している、または力を入れている事業について 2 コロナ禍での事業実施における工夫点について 3 栄養指導業務において、活用している指導媒体について	東地方保健所	市町村 行政栄養士4名
研修会	令和4年 6月20日（月）	<b>【事業紹介】</b> 1 メディコトリム教室について 平内町健康増進課 井口凡子課長補佐 2 ヘルシーバランス弁当事業について むつ市健康づくり推進課 小林千花管理栄養士 <b>【情報提供】</b> 東地方保健所・むつ保健所の重点事業紹介	東地方保健所	市町村 行政栄養士4名
	令和5年 2月2日（木）	<b>【講義】</b> 保健統計情報とその活用（基礎編） 健康増進課長 蓬畑恵久美 <b>【講義】</b> 施策立案を見据えた地域診断～保健情報の収集・分析・見せ方～ 健康増進課 技師 船水祐志	むつ保健所	市町村 行政栄養士2名

## イ 保健所栄養士による市町村栄養改善業務支援回数

年度	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
R1	1	-	-	4	-	5
R2	2	2	-	3	-	7
R3	1	-	-	2	-	3
R4	1	1	-	3	-	5

## 4 母子保健

### (1) ハイリスク新生児情報共有システム

低出生体重児や早産児などのハイリスク新生児は、疾病等にかかりやすく心身の障害を残す場合があるほか、養育する保護者の不安等も強いことから、訪問指導等を通じて育児支援を適切に進めるために、関係機関と情報を共有し、連携体制を構築することを目的に運用しています。

<令和4年度ハイリスク新生児情報共有システム運用状況>

市町村	低出生体重児数	ハイリスク新生児 出生連絡票受理数	ハイリスク新生児 訪問指導連絡票発行数
むつ市	16件	9件	10件
大間町	4件	-	-
東通村	-	-	-
風間浦村	-	-	-
佐井村	-	-	-
計	20件	9件	10件

### (2) 身体障害児等療育相談事業

身体の機能に障害のある児童又は機能障害を招く恐れのある児童を早期に発見し、適切な治療上の指導等を行い、その障害の治療もしくは軽減を図ることを目的に療育相談を年4回開催しました。

また、身体障害児童について障害の状態及び療育の状況を随時把握し、その状況に応じて適切な福祉の措置について指導しています。

<相談者数、相談結果（実人数）>

	5月	8月	11月	2月	計
要治療	-	-	-	-	-
経過観察	2	3	3	2	10
異常なし	-	-	-	-	-
計	2	3	3	2	10

<相談内容（延件数）>

肢体不自由	9
補装具相談	1
視覚障害	-
聴覚・平衡機能障害	-
音声・言語・咀嚼機能障害	7
その他（栄養指導等）	2
計	19

### (3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整やその他の事業を行います。

#### ア 療育相談（面接指導等）の実施状況

相談内容別件数		(件)							
実人数	延件数								
	申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就学	食事・栄養	歯科	その他	計
7人	-	-	10	-	-	-	-	1	11

#### イ 訪問指導 ※アの内数

訪問指導者数		
男	女	計
2	2	4

### (4) 妊産婦支援体制整備事業

<母子保健ネットワーク会議>

母子が健やかに妊娠、出産を迎え、育児を行うことができるよう、母子保健における課題について関係機関が協議を行い、連携を一層強化することを目的として行っています。

開催期日	令和5年1月16日(月) 13:30~15:30
開催場所	プラザホテルむつ
参加者等	むつ総合病院、青森県助産師会、三沢市、野辺地町、東北町、管内市町村、県子どもみらい課
開催内容	<p>&lt;テーマ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産後ケア事業</li> </ul> <p>&lt;情報提供&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県子どもみらい課「産後ケア事業について」</li> <li>三沢市、野辺地町、東北町「母子保健事業の取組について」</li> <li>青森県助産師会「委託事業等の取組について」</li> </ul> <p>&lt;情報交換&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産後ケア事業を中心とした、母子保健事業の取り組みについて情報交換し、市町村における事業企画の一助とした。</li> </ul>

### (5) 女性健康支援事業

女性は、妊娠、出産等固有の機能を有するだけではなく、女性特有の身体的特徴を有することによりさまざまな支障や心身にわたる悩みを抱えていることから、女性がその健康状態に応じた確に自己管理を行うことができるように支援しています。

令和4年度の相談件数は0件でした。

## (6) 各種医療給付及び検査実施状況

### ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度

この制度は、長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として、対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に生かすものです。平成30年7月1日から制度改正となり、対象疾病は14疾患群から16疾患群に追加・整理されました。

令和4年度末現在、管内で小児慢性特定疾病医療受給者証を所持する対象児童数は74名となっています。

### イ 小児慢性特定疾病児童手帳交付事業

上記アの対象児童に対し、緊急の連絡先等を記載する手帳（愛称：ひまわり手帳）を交付しています。令和4年度の管内の交付件数は10件となっています。

### ウ 先天性代謝異常等検査

先天性代謝異常等検査は発見が遅れると障害の原因になる先天性の疾患を早期に発見し、治療することを目的として全ての新生児を対象に実施しています。

平成25年度から、新たな検査方法（タンデムマス法）が導入され、19疾患について検査することができるようになりました。

先天性代謝異常検査の結果、異常のあった者はいませんでした。

### エ 青森県特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が重いことから、費用の一部を助成しています。

令和4年4月より特定不妊治療が保険適用になったことから、対象者は令和3年度中に開始し令和4年度中に治療を終了した方で、助成回数は1回のみとなりました。

令和4年度の管内の助成件数は5件となっています。

## 5 歯科保健

### (1) 親と子のよい歯のコンクール

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しませんでした。

## 6 精神保健福祉

### (1) 入院通院医療事務関係

#### ア 精神障害者申請・通報・届出及び移送の状況（令和4年度）

（単位：件）

区 分	申請通報 届出件数	調査により 診察の 必要がない と認め た者	診察を受けた者		移送を行った件数		
			法第29条 該当症状 の者	法第29条 該当症状で なかった者	調査から 1次診察 場所まで	1次診察 場所から 2次診察 場所まで	2次診察 場所から 病院まで
一般の申請	1	-	-	1	1	-	-
警察官の通報	4	2	2	-	1	1	1
検察官の通報	-	-	-	-	-	-	-
保護観察所長の通報	-	-	-	-	-	-	-
矯正施設の長の通報	2	2	-	-	-	-	-
病院の管理者の届出	-	-	-	-	-	-	-
計	7	4	2	1	2	1	1

#### イ 措置入院者

（単位：人）

令和3年度末患者数	令和4年度中新規患者数	令和4年度中解除患者数	令和4年度末患者数
3	2	5	-

#### ウ 入院形態別患者数（管内医療機関 令和5年3月31日現在）

（単位：人）

	総 数	措置入院	医療保護入院	任意入院	その他の入院
令和2年度	34	-	27	7	-
令和3年度	34	-	30	4	-
令和4年度	39	-	35	4	-

#### エ 病名別入院患者数（管内医療機関 令和5年3月31日現在）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
統合失調症	14	17	17
躁うつ病	10	4	4
精神神経症	2	1	1
精神病質	-	-	-
精神遅滞	-	-	1
てんかん	-	-	-
中毒性精神障害	-	-	2
その他及び不明	-	-	-
脳器質性精神障害	7	12	14
その他の精神病	1	-	-
計	34	34	39



オ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（令和5年3月31日現在）（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計	
令和2年度	603	41	49	17	16	726	
令和3年度	640	42	51	18	18	769	
令和4年度	計	661	41	56	19	20	797
	1級	130	10	12	5	3	160
	2級	432	24	32	10	15	513
	3級	99	7	12	4	2	124

カ 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者数（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
症状性を含む器質性精神障害	31	1	2	1	-	35
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	10	1	2	1	1	15
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	361	20	29	8	7	425
気分（感情）障害	254	13	19	5	8	299
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	81	5	7	-	-	93
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	3	-	-	-	-	3
成人の人格及び行動の障害	9	-	1	-	-	10
知的障害（精神遅滞）	34	1	6	1	1	43
心理的発達の障害	109	-	4	1	3	117
小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び詳細不明の精神障害	42	1	3	2	-	48
てんかん	81	10	9	5	8	113
その他の精神障害	-	-	-	-	-	-
分類不明	64	4	2	2	1	73
計	1,079	56	84	26	29	1,274

## (2) 精神保健福祉相談状況

実施日 指定日 (年5回) 受付時間 午後2時～3時 従事者 精神科医

<相談内容別相談件数>

(単位：件)

		令和3年度相談件数	令和4年度相談件数	相談内容別														自殺関連(再掲)	
				受診・入院について	通院・服薬について	生活指導等について	経済的問題	性格・行動上のこと	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	思春期		その他
来所	定期	7	9	1	-	-	-	-	6	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	随時	3	12	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7	-
	電話	57	41	8	2	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	23	6
	計	67	62	12	3	-	-	-	6	1	-	8	-	1	1	-	-	30	6

## (3) 家庭訪問指導状況

<家庭訪問指導件数>

(単位：件)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延数	37	47	53

## (4) 自殺対策事業

### 包括的基盤強化事業及び地域職域連携強化事業

多分野合同研修会(地域・産業保健連携推進情報交換会併催)

開催日	出席者	内容
令和4年8月3日(水)	市町村担当者、 むつ総合病院、 むつ警察署、下 北地方福祉事務 所担当者等	1 情報提供 「下北地域における自殺の現状について」 下北地域県民局地域健康福祉部保健総室健康増進課 2 情報共有及び意見交換 ①管内市町村の自殺対策の取組状況及び課題 ②自殺企図者及び自殺未遂者の支援に関する連携について
令和5年1月13日(金)	市町村担当者、 市町村教育委員 会、むつ総合病 院、むつ警察署、 下北地方福祉事 務所担当者等	1 情報提供 「自殺対策で求められるSOSの出し方に関する教育」 下北地域県民局地域健康福祉部保健総室健康増進課 2 講話 「生きづらさを抱える子供・若者の現状と取組み」 青森県立保健大学 反町吉秀教授 3 意見交換 「関係機関の連携について」

## (5) 市町村活動への支援

### ア 事例検討会等への参加

	むつ市	東通村	風間浦村	大間町	佐井村
要保護児童対策 地域協議会	5件	0件	0件	0件	0件
自立支援協議会 ケース検討会議	0件	0件	0件	0件	0件
個別 ケース会議等	6件	1件	0件	0件	0件
措置入院退院後 支援計画対象者	1名 《退院後支援検討会議：1件》				

### イ 市町村等との同行訪問

受診援助や継続ケース等への同行訪問：19件

## (6) 精神障害者家族会及び当事者への支援

### ア 精神障害者家族会

<管内家族会の状況>

家族会名	設立年月日	事務局	会員数 (R4年度末)
あじさいの会 (むつ市)	昭和 63 年 11 月 9 日	向井ひろし氏	休止中
ふれあい家族会 (川内町)	平成 6 年 7 月 7 日	むつ市役所川内庁舎	休止中
ひばの会 (大畑町)	平成 13 年 4 月 11 日	むつ市役所大畑庁舎	5 人
むつ下北メンタル福祉家族会連合会	平成 21 年 7 月 23 日	アックス工房内	
きさらぎの会 (アックス工房)	平成 23 年 2 月 27 日	アックス工房内	20 人程度
東通村いちいの会 (※3 障害の家族会を統合)	平成 26 年 4 月 1 日	東通村社会福祉協議会	30～35 人

### イ 当事者の会

- ・なごみの会…平成 28 年 4 月～休会中。
- ・つどい…会員 7 名程度で年 4 回程度活動中。

## (7) 関係機関等連絡会議

会議名	開催月日	場所	開催内容	出席者
精神科救急医療システム連絡調整委員会	令和5年1月	—	書面開催にて開催することとし、各委員及び管内市町村関係課に資料送付。	—

## (8) 地域生活支援広域調整等事業

平成26年4月の精神保健福祉法の一部改正により、精神障害者の地域生活への移行促進に向けた見直しが行われました。精神障害者本人とその家族が、住み慣れた地域で適切な医療を受け、本人が希望する生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉分野の関係機関が連携して支援する体制づくりが必要となっています。

### ア 下北地域生活支援広域調整会議

開催日	出席者	内 容
令和5年2月	相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、医療機関、市町村	○新型コロナウイルス感染症等の状況により、相談支援事業所、むつ市障がい福祉課、むつ総合病院の取組実践を取りまとめた事例集を作成し、書面開催した。

### イ 茶話会

日時	場所	出席者	内容
令和4年5月16日 14:00～16:00	むつ健康福祉庁舎	12名（相談支援事業所、医療機関、市町村、保健所）	○第1回茶話会 ・令和3年度までの振り返り ・リーフレットの作成と活用について

## 7 難病

### (1) 指定難病医療費助成制度及び特定疾患治療研究事業

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働省が定める疾病を指定難病といい、指定難病の患者に対して治療に係る医療費の一部を助成する制度を行っています。平成27年1月1日から「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、令和3年11月1日までに医療費助成の対象疾病が段階的に338疾病まで拡大されました。なお、制度改正前に特定疾患治療研究事業で対象であった5疾患については、負担の軽減を図ることを目的に同事業で医療費の一部を公費負担しています。令和2年度より医療受給者は0名となっています。

令和4年度末における医療受給者は484名です。

#### ア 病名別特定医療受給者数

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
002	筋萎縮性側索硬化症	10	8	5
005	進行性核上性麻痺	3	2	3
006	パーキンソン病	66	61	55
007	大脳皮質基底核変性症	7	7	7
008	ハンチントン病	-	1	1
011	重症筋無力症	7	7	8
013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	14	14	14
014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	6	2	1
015	封入体筋炎	1	1	1
017	多系統萎縮症	4	3	5
018	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	31	31	28
019	ライソゾーム病	4	4	4
021	ミトコンドリア病	-	1	1
022	もやもや病	5	6	3
023	プリオン病	-	-	1
028	全身性アミロイドーシス	1	2	3
034	神経線維腫症	5	6	6
035	天疱瘡	1	1	1
037	膿疱性乾癬(汎発型)	1	1	1
038	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	-	-
040	高安動脈炎	3	2	2
043	顕微鏡的多発血管炎	6	6	5
044	多発血管炎性肉芽腫症	2	2	2
045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	2	2
046	悪性関節リウマチ	1	-	-
047	バージャー病	4	4	3
048	原発性抗リン脂質抗体症候群	-	-	1
049	全身性エリテマトーデス	25	20	20
050	皮膚筋炎／多発性筋炎	10	11	12

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
051	全身性強皮症	5	5	5
052	混合性結合組織病	5	4	4
053	シェーグレン症候群	4	4	3
054	成人スチル病	3	4	5
056	ベーチェット病	11	11	10
057	特発性拡張型心筋症	9	8	7
060	再生不良性貧血	1	2	3
061	自己免疫性溶血性貧血	2	1	-
063	特発性血小板減少性紫斑病	7	6	5
064	血栓性血小板減少性紫斑病	1	1	1
065	原発性免疫不全症候群	2	2	2
066	IgA 腎症	8	6	3
067	多発性嚢胞腎	8	8	8
068	黄色靭帯骨化症	4	4	3
069	後縦靭帯骨化症	31	27	26
070	広範脊柱管狭窄症	2	2	2
071	特発性大腿骨頭壊死症	12	10	9
072	下垂体性ADH分泌異常症	1	2	2
074	下垂体性PRL分泌亢進症	1	1	1
077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	4	4	4
078	下垂体前葉機能低下症	18	20	19
081	先天性副腎皮質酵素欠損症	1	1	1
084	サルコイドーシス	9	11	11
085	特発性間質性肺炎	4	3	3
089	リンパ管筋腫症	1	1	1
090	網膜色素変性症	10	8	8
093	原発性胆汁性肝硬変	11	9	7
095	自己免疫性肝炎	2	3	3
096	クローン病	35	34	33
097	潰瘍性大腸炎	65	66	66
098	好酸球性消化管疾患	1	-	-
107	若年性特発性関節炎	-	-	1
113	筋ジストロフィー	3	3	3
117	脊髄空洞症	1	-	-
127	前頭側葉変性症	1	-	-
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	1	1	1
151	ラスムッセン脳炎	-	1	-
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	1	1	1
210	単心室症	1	1	1
218	アルポート症候群	1	-	-
222	一次性ネフローゼ症候群	9	8	9
224	紫斑病性腎炎	1	1	1

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1	1	1
271	強直性脊椎炎	1	1	1
296	胆道閉鎖症	1	1	1
300	IgG4 関連疾患	1	1	-
306	好酸球性副鼻腔炎	4	10	14
合 計		526	503	484

### イ 病名別特定疾患医療受給者数

	病 名	受 給 者 数		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	スモン	-	-	-
2	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）	-	-	-
3	重症多形滲出性紅斑（急性期）	-	-	-
4	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	-	-	-
5	重症急性膵炎	-	-	-
合計		-	-	-

## (2) 難病患者地域支援対策推進事業

### ア 訪問相談

難病患者・家族が抱える日常生活及び療養上の悩みに対して相談を行うため、3名の在宅保健師に訪問相談員の証を交付し、選定した難病患者へ継続して訪問支援をしました。活動日数は13日、活動件数は延べ19件（実件数10件）でした。

## (3) 保健所保健師による訪問指導等

### ア 家庭訪問

主に患者や家族、関係機関から訪問依頼があった患者等に対して訪問しました。実件数16件、延べ23件行いました。

### イ 所内面接指導

特定医療受給者証新規交付時や更新時及び随時相談を行いました。12件の相談件数でした。相談内容は、申請等に関する事、医療、家庭看護、福祉制度、就労、食事・栄養に関するもの等でした。

### ウ 電話相談

随時電話相談を行い、相談件数は6件でした。



## 8 人材育成

### (1) 新任保健師研修

新任保健師が保健師の専門性を発揮し、「みる」「つなぐ」「動かす」という地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を身につけることを目的に研修会を開催しました。

○対象者：4人（むつ市：3人、大間町：1人）

	経験年数	人数
むつ市	1年目	2人
	2年目	1人
大間町	3年目	1人

○1回開催

	開催日	内容	場所	参加者
1	令和5年 2月2日（木）	講義及び演習 「保健統計情報とその活用（基礎編）」 講師：むつ保健所 健康増進課長 蓬畑 恵久美 技師 船水 祐志	むつ健康福祉庁舎 2階 共用会議室	13人

### (2) 青森県新任等保健師育成支援事業

市町村の20歳代等の若手保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。令和4年度の事業活用はありませんでした。

### (3) 青森県保健所保健師等育成支援事業

地域県民局地域健康福祉部保健総室の新任保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。

令和4年度は、対象者なしでした。

#### (4) 保健師連絡会議

市町村のリーダー期及び次期リーダー保健師がその機能を発揮し、チームリーダーとしての役割を果たすことを目的に開催しました。

- ・対象者：市町村管理期相当保健師、市町村中堅相当保健師、保健所保健師
- ・2回開催

	開催日	内容	場所	参加者
1	令和4年 7月15日(金)	書面開催 ①新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた令和4年度の事業等実施状況 ②人材育成の状況(管内市町村へのアンケート結果まとめ)	—	—
2	令和5年 1月30日(月)	情報提供 (県高齢福祉保健課) ・糖尿病性腎症重症化予防及び高齢者保健事業・介護の一体的実施に係る県内の状況等について 情報交換 ①新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた令和4年度の事業等実施状況及び令和5年度の取組計画 ②各市町村における災害時の体制等について ③人材育成の状況	むつ健康福祉庁舎 2階 共用会議室	14人

## 9 総合的地域診断システム構築事業

地域及び保健所関連業務に係るデータを総合的に分析し、企画評価に活用することにより、複雑多様化する健康課題の解決に向けた的確で効果的な健康施策を推進することを目的に、市町村地域診断等に関することとして、特定健診・レセプトデータ等の集計及び総合的地域診断システム推進事業を実施しました。

### (1) 市町村地域診断等に関すること

これまでも特定健康診査データ及びレセプトデータを用いた地域診断を実施してきましたが、レセプトデータをより分析しやすいように新たにツールが作成されたことから、このツールを用いて、市町村がレセプトデータの分析を行うことにより、地域診断を実施し、より効果的で効率的な「健活」を推進できるようにすることを目的に実施しています。

令和4年度は、令和2・3年度分の特定検診診査データを集計しました。

### (2) 総合的地域診断システム推進事業

県本庁や保健所が担うべき情報分析機能を強化するために、ITを活用した「知(情報)の伝承」システムを構築するため、難病・精神関係の分析のためのツールが平成23年度開発され、相談等で活用が図られています。

## 10 組織育成

### (1) 保健協力員連絡会

健康づくりの担い手である保健協力員活動の活性化を図り、地域住民の健康水準の向上につなげるために、自主的活動に向けての支援を行いました。

#### ア 市町村保健協力員配置状況（令和4年度）

（単位：人）

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
協力員数	92	30	66	24	30	60	30	33	365
組織会の有無	有	有	有	有	有	有	有	有	—
設置年月日	S38年1月	S36年9月	S33年4月	H7年7月	S54年1月	H6年11月	S54年7月	S48年4月	—

#### イ 保健協力員連絡・研修会事業

青森県国民健康保険団体連合会からの助成を受け実施しました。

役員会で研修内容を計画し、それぞれが役割を果たし、主体性を持って取り組みました。

開催日	場 所	内 容	参加者
令和4年 7月4日（火）	むつ健康福祉 庁舎 2階 共用会 議室	第1回管内保健協力員連絡会役員会 ①令和4年度役員体制について ②令和3年度下北地方保健協力員連絡会実績報告 ③令和3年度収支決算報告 ④令和4年度収支予算案 ⑤令和4年度下北地方保健協力員連絡研修会について ⑥各市町村の令和4年度活動計画について	役員 8人
令和4年 10月25日（火）	プラザホテル むつ 1階 プラザ ホール	令和4年度下北地方保健協力員連絡会研修会 ①情報提供「下北地方の自殺の現状について」 ②講話「薬とサプリメントの飲み合わせ、正しいサプリメントのとりかた、健康食品の正しいとりかたについて」	76人
令和5年 3月1日（水） ※書面開催議決日	—	第2回管内保健協力員連絡会役員会 ①令和4年度活動報告、収支決算報告 ②令和5年度活動計画案及び予算案について ③令和5年度以降役員体制について	役員 8人 (書面)

## (2) 食生活改善推進員連絡協議会

地域に密着した食生活改善活動にあたる食生活改善推進員の調理実習等地区組織活動を指導、支援しました。

### ア 市町村食生活改善推進員の配置状況

(令和5年3月現在) (人)

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
会員数	22	34	19	9	15	21	31	8	159

### イ 管内食生活改善推進員連絡協議会の育成・支援

開催日	場 所	内 容
令和4年 4月28日(木)	むつ保健所	第1回役員会 ・監査会、役員会
令和4年 6月29日(水)	むつ保健所	第2回役員会 ・県理事会報告
令和4年 9月21日(水)	むつ保健所	第3回役員会 ・合同研修会について
令和4年 11月28日(水)	むつ保健所	第4回役員会 ・県理事会報告、重点関係業務の依頼
令和5年 3月17日(金)	むつ保健所	第5回役員会 ・県理事会報告、令和5年度総会について

### (3) 地域保健関係者研修

多様化・高度化する保健ニーズを有する地域住民がより主体的に健康を高め、地域において安心して生活できるよう、その支援者である地域健康福祉部・市町村等の地域保健関係者が、健康な地域づくりを目指して専門的知識や技術を習得し、生活者重視の視点にたった保健福祉サービスが提供できるように、地域保健関係者の資質の向上及び関係者間の連携強化の方法について研修することを目的として実施しました。

	年月日	研修内容		対象者	受講者数				
		テーマ	講師等		健康福祉部	市町村	関係者	その他	計
1	令和4年 7月15日	第1回保健師連絡会議 ①新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた令和4年度の事業等実施状況 ②人材育成の状況 ※書面開催	なし	管内市町村リーダー保健師及び次期リーダー保健師等	-	-	-	-	-
2	令和4年 11月28日	感染症対策研修 (感染対策の基礎知識と吐物処理研修) ※zoom開催	むつ総合病院 感染対策室 副主任 磯谷 千明	管内保育施設職員 (感染対策を担う実務責任者等)	3	-	16	-	19
3	令和5年 1月30日	第2回保健師連絡会議 1. 情報提供 糖尿病性腎症重症化予防に係る県内の状況等について 2. 情報交換 (1)新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた令和4年度の事業等実施状況及び令和5年度の取組計画 (2)各市町村における災害時の体制等 (3)人材育成の状況 (4)その他	県高齢福祉保険課	管内市町村リーダー保健師及び次期リーダー保健師等	3	11	1	-	15

## 1 1 虚偽・誇大広告の禁止等食品の表示に関する指導・相談

健康増進法に基づく虚偽・誇大広告の禁止、食品表示法に基づく栄養成分表示等食品の表示が適切に行われるよう、食品関連業者からの相談対応、また指導を実施しています。令和4年度の虚偽・誇大広告及び栄養成分表示に関する指導・相談は4件でした。

## 1 2 石綿（アスベスト）に係る健康相談状況

石綿（アスベスト）に係る健康被害状況について関係企業から相次いで公表されていることを契機とし、住民の石綿に対する健康不安が高まっていることを受けて、県では、国の指示を受けて保健所においてアスベストに関する健康相談を平成17年7月より実施しています。

令和4年度の来所相談及び石綿健康被害救済給付申請件数は2件でした。

## 1 3 感染症予防

### (1) エイズ予防関係

エイズ及び性感染症の予防・まん延防止を図るため、保健所に相談窓口を開設し、匿名での相談・無料の検査を月1回実施しています。平成31年度からHIV即日検査を導入しました。HIV抗体検査の他、性器クラミジア抗体検査及び梅毒血清検査を行っています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
	男	女	男	女	電話		来所	
					男	女	男	女
R2	8	3	13	-	13	-	-	-
R3	3	4	8	1	8	1	-	-
R4	9	6	1	1	1	-	-	-

### (2) ウイルス性肝炎検査・相談

ウイルス性肝炎（B型・C型）の感染者の早期発見と早期治療に結びつけ、肝硬変、肝がん等への進行を防ぐことを目的に、平成23年4月より無料の検査を月1回実施しています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
	男	女	男	女	電話		来所	
					男	女	男	女
R2	3	1	-	-	-	-	-	-
R3	2	2	1	-	1	-	-	-
R4	1	-	-	1	-	1	-	-

### (3) 感染症発生状況（全数把握感染症）

(件)

病 名		令和2年	令和3年	令和4年
一類感染症	エボラ出血熱	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-
	ペスト	-	-	-
	マールブルク病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-
二類感染症	急性灰白髄炎	-	-	-
	結核	6	6	5
	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-
三類感染症	コレラ	-	-	-
	細菌性赤痢	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	1	-	-
	腸チフス	-	-	-
	パラチフス	-	-	-
四類感染症	ツツガムシ病	1	-	1
五類感染症	アメーバ赤痢	-	-	-
	ウイルス性肝炎（A型・E型除く）	-	-	-
	梅毒	-	-	1
	風しん	-	-	-
	その他の感染症（省令で規定）	14（百日咳3、 カルバペネム 耐性腸内細菌 感染症11）	9（百日咳1、 カルバペネム 耐性腸内細菌 感染症8）	4（百日咳2、 カルバペネム 耐性腸内細菌 感染症2）

注) 感染症発生動向調査システムデータから

### (4) 感染症サーベイランス事業（定点把握感染症）

管内における定点医療機関は6か所で、インフルエンザ6か所・小児科4か所・眼科1か所・基幹1か所からの報告を集計し、週単位または月単位で県や国へ報告しています。

令和4年において最も報告数が多いのは感染性胃腸炎、これに続いて、手足口病となっています。感染症の発生動向をみながら、関係機関に情報提供し感染拡大防止に活用しています。

感染症サーベイランス年次状況

(件)

報告(届出)区分	調査単位(届出期間)	疾患名	令和2年	令和3年	令和4年
インフルエンザ定点	週(次の月曜)	インフルエンザ	677	-	5
小児科定点	週(次の月曜)	RSウイルス感染症	16	93	8
		咽頭結膜熱	29	45	11
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	35	32
		感染性胃腸炎	337	271	143
小児科定点	週(次の月曜)	水痘	28	74	16
		手足口病	7	8	137
		伝染性紅斑	34	-	1
		突発性発しん	62	38	12
		ヘルパンギーナ	13	7	38
		流行性耳下腺炎	13	9	11
眼科定点	週(次の月曜)	急性出血性結膜炎	-	-	-
		流行性角結膜炎	1	1	-
性感染症定点	月(翌月初日)	性器クラミジア感染症	7	5	1
		性器ヘルペスウイルス感染症	1	1	1
		尖圭コンジローマ	1	2	1
		淋菌感染症	-	-	-
基幹定点	週(次の月曜)	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
		細菌性髄膜炎	-	-	-
		マイコプラズマ肺炎	30	30	65
		無菌性髄膜炎	-	-	-
基幹定点	月(翌月初日)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-
		薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-

(5) 青森県肝炎治療特別促進事業(肝炎治療費助成制度)

平成20年度より、将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止を図ることを目的にインターフェロン治療による「肝炎治療医療費助成」を行っています。医療費助成の対象は年々拡大しており、平成30年2月にはC型慢性肝炎又はChild-Pugh分類Aの代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療(レジパスビル/ソホスブビル配合錠)による治療が医療費助成の対象になっています。

<肝炎治療受給者証申請件数>

(件)

区分	インターフェロン治療	インターフェロン3剤併用治療	インターフェロンフリー治療	核酸アナログ製剤治療
令和2年度	-	-	3	11
令和3年度	-	-	5	62
令和4年度	-	-	4	64



## 1 4 結核患者支援

我が国における近年の結核罹患状況は、若年者層では低いですが、社会の高齢化と共に発病者の高齢化も進み全体では横ばいの傾向にあります。管内では、幸いなことに若年者の発病は少なく、集団感染事例は起きていませんが、受診の遅れや診断の遅れによる重症化がみられます。

平成19年4月1日より結核予防法が「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合され、定期健康診断の結核検診は一般住民・事業所等の必ず検診を受けなければならない者（対象）が緩和されました。一方、接触者健康診断は通知から勧告、措置と強化されました。

### (1) 結核診査協議会

結核診査協議会は月2回開催し、結核患者の入院勧告の可否及び医療内容の適否について診査しています。

区分 年度	感染症法第37条の2関係 (医療内容の適否)	感染症法第20条関係 (入院勧告の可否)	計 (件)	備 考
令和2年度	3	12	15	
令和3年度	7	5	12	
令和4年度	7	2	9	

### (2) 新登録患者数（市町村・年齢別）

全国的には結核患者が高齢者に偏在する傾向は変わりませんが、若年者の発病も目立ってきている点を留意しなければなりません。新登録患者のうち、管内の高齢者層の70才以上が占める割合は、令和2年66.7%、令和3年は50%、令和4年は50%となっています。

(令和4年)

年齢階級 市町村	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	計	結核感染症 (別掲潜在性)
	4	9	14	19	29	39	49	59	69			
む つ 市	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	3
大 間 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東 通 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風 間 浦 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐 井 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令 和 4 年	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	3
令 和 3 年	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	2
令 和 2 年	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	2

### (3) 全登録者数（市町村・年齢別）

全登録者数は高齢者層に多く、令和4年は30～39歳の層と60歳以上の層との比率は1:5となっています。

（令和4年12月31日現在）

市町村	年齢階級											計
	0 ～ 4	5 ～ 9	10 ～ 14	15 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80 ～ 89	
むつ市	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	5	
大間町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東通村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
風間浦村	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
佐井村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和4年	-	-	-	-	-	1	-	-	2	3	6	
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	
令和2年	-	-	-	-	-	1	1	1	2	3	8	

※ 潜在性結核感染症は除く

### (4) 結核患者登録状況（市町村・活動性別）

#### ア 新登録患者

（令和4年）

市町村	計	性別		肺結核				活動性 肺外結核
		男	女	登録時菌所見				
				喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性 その他	
				初回治療	再治療			
むつ市	2	1	1	2	-	-	-	-
大間町	-	-	-	-	-	-	-	-
東通村	-	-	-	-	-	-	-	-
風間浦村	-	-	-	-	-	-	-	-
佐井村	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2	1	1	2	-	-	-	-

※ 潜在性結核感染症は除く

イ 全登録患者

(令和4年12月31日現在)

市町村	計	性別		活動性結核					不活動性結核
		男	女	肺結核			活動性肺外結核		
				登録時菌所見					
		喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性その他				
		初回治療	再治療						
むつ市	5	3	2	3	-	2	-	-	
大間町	-	-	-	-	-	-	-	-	
東通村	-	-	-	-	-	-	-	-	
風間浦村	1	1	-	-	-	-	-	1	
佐井村	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	6	4	2	3	-	2	-	1	

※ 潜在性結核感染症は除く

(5) 結核患者有病率及び罹患率

区分	人口 R4・10・1概人口	登録活動性 患者数	有病率 (人口10万人対)	新登録 患者数	罹患率 (人口10万人対)
むつ市	52,144	5	9.6	2	3.8
大間町	4,497	-	-	-	-
東通村	5,693	-	-	-	-
風間浦村	1,538	1	65.0	-	-
佐井村	1,609	-	-	-	-
令和4年	65,481	6	9.2	2	3.1
令和3年	66,768	4	6.0	4	6.0
令和2年	67,766	8	11.8	3	4.4

(注) 登録活動性患者数：有病率は令和4年12月31日現在

新登録患者数：罹患率は令和4年中

※ 有病率 = (年末活動性全結核患者数) ÷ (人口) × (10万)

※ 罹患率 = (年間新登録患者数) ÷ (人口) × (10万)

※ 潜在性結核感染症は除く

## (6) 定期結核健康診断

### ア 一般住民結核検診状況

(令和4年度)

種別	胸部X線撮影			BCG接種		
	対象者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) %	対象者数 (C)	被接種者数 (D)	受診率 (D)/(C) %
市町村別						
むつ市	18,692	2,692	14.4	243	210	86.4
大間町	1,748	335	19.2	22	17	77.3
東通村	3,310	792	23.9	17	16	94.1
風間浦村	1,323	279	21.1	2	2	100.0
佐井村	1,375	318	23.1	5	7	140.0
令和4年	26,448	4,416	16.7	289	252	87.2
令和3年	24,342	3,858	15.8	330	302	91.5
令和2年	26,481	2,847	10.8	283	300	106.0

(注) (B) は間接撮影を省略して直接撮影のみ行った者を含む。

### イ その他事業所等結核健康診断状況

(令和4年度)

	エックス線検査			精密検査 指導区分			
	対象者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) %	対象者数 (C)	受診者数 (D)	受診率 (C)/(D) %	菌検査
使用者	5,995	5,737	95.7	14	12	85.7	
学校長	524	519	99.0	2	2	100.0	
施設長	785	754	96.1	47	44	93.6	
令和4年度	7,304	7,010	96.0	63	58	92.1	
令和3年度	7,514	7,312	97.3	58	55	94.8	
令和2年度	4,883	4,685	95.9	63	54	85.7	

## (7) 接触者健康診断

接触者健康診断においては、令和4年度はQFT-4G検査延べ7件実施しました。

接触者健康診断	家族 その他	胸部X線検査 直接撮影者数	QFT-4G検査数	被発見者	
				結核患者	発病の恐れがある者
	家族	-	7	1	-
	その他	-	-	-	-

※ 被発見者には潜在性結核患者を含む。

## (8) 相談及び訪問指導状況

年内の新規登録者(潜在性結核感染症含む)6件に対し、1週間以内に面接を実施しました。  
また、DOTS 対象者(R3年登録患者含む)8名中8名にDOTSを実施し、治療中断者はいませんでした。

新規登録患者及びDOTS対象者に対する訪問件数は5件、所内相談は26件、電話1件でした。

## (9) 結核対策特別促進事業

### ア 院内DOTSカンファレンス

院内DOTS対象者1名に対し、院内DOTSを実施しました。

### イ 地域DOTSカンファレンス

対象者1名に対し、退院時カンファレンスを実施しました。

## 1.5 新型コロナウイルス感染症対策

### (1) 保健医療現地調整本部の設置

保健所長を本部長として、保健所内に「下北地域保健医療現地調整本部」を設置し、患者の発生に対応する体制を整備しました。

### (2) 受診・相談センターの運営

24時間の電話相談対応。

・相談件数：2,531件（令和5年3月末現在）

### (3) 陽性者等の対応

管内陽性者全数に、疫学調査等を実施しました。

### (4) 住民、関係機関への感染対策、予防等の啓発

必要に応じ、陽性者が発生した施設、職場等の現地調査、感染対策指導を実施しました。

### (5) 下北地域の医療体制整備

むつ総合病院を中心とした圏域の医療体制を整備。

- ・令和3年6月1日 新感染症センター運用開始
- ・令和3年8月30日 むつ市宿泊療養施設運営開始
- ・令和4年9月30日 むつ市宿泊療養施設閉鎖